

会員の皆様へ：年会費納入の情報：郵便封筒の宛名下の数字参照。2023は2023年度まで納入済み。

しのばず自然観察会より 2023-4 2023.04.05

2023年4月の活動 不忍池定点観察



集 合：2023年4月23日（日）
午前10時 不忍池 蓮池南西端
緑の小旗あり（野外ステージ西側、湯島天神下交差点寄り）今回は雨天中止
持 物：筆記用具、双眼鏡、雨具、マスク、
（敷物、昼食、飲み物）
解散は午後1時頃ボート池畔または藤棚
*花見が一段落。コロナ対策にも留意を！
参加費不要 非会員の参加も歓迎

*4月23日は市区町村議会議員選挙投票日です。環境を守る一票を行使してから、観察会においでください！ 期日前投票も活用できます。

白い花のベロニカ（*Veronica*）



イヌノフグリの仲間（*Veronica* 属）で白い花を咲かせる植物が不忍池のボート池西南畔と蓮池西南畔で見られます。昨年までは気づかなかったのですが、今年は3月に入ると花をつけました。

白っぽい（青白い）花をつけるイヌノフグリの仲間にはフラサバソウがありますが、ネットで見ると、白い花の種類はコゴメイヌノフグリで、

1960年代に小石川植物園に導入されたと紹介されていました。 —P2へ続く—

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円

2022年以前の会費未納の方もお忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ

2023年 3月19日の観察記録

3月の定点観察会には、だんだんと晴れて来た空のもと、11名が参加しました。集合地点では、すぐそばにあるイチョウの幹に生えた陽光桜の花が咲いているのを確認しました。ちょうどソメイヨシノの開花宣言も出て、園路は久々に人で埋まった感じでした。3月上旬にいたアカハジロは見つかりませんでした。



鳥：ハシビロガモ、オナガガモ、カルガモ、キンクロハジロ、ホシハジロ、カワセミ、ダイサギ、アオサギ、コサギ、ゴイサギ、ユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメ、カワウ、オオバン、カイツブリ、ハクセキレイ、アカハラ、シジュウカラ、スズメ、ドバト、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ムクドリ

←むこう向きですが、樹上のアカハラ

開花植物：ヤナギ、サクラ（染井吉野、陽光ほか）ツバキ（ヤブツバキ系、乙女椿系）、ノゲシ、ノボロギク、ホトケノザ、オオイヌノフグリ、コゴメイヌノフグリ、雑種タンポポ（推定4倍体、両親の種は不明）、キュウリグサ、スノーフレイク

白い花のイヌノフグリの仲間（*Veronica*）

白い花のイヌノフグリの仲間（*Veronica* 属）について、小石川植物園で研究経験がある多田多恵子博士に伺ってみたところ、次のような解説をいただきました。

白い花の *Veronica* はコゴメイヌノフグリ (*Veronica cymbalaria*) です。この仲間は靴裏散布、というか、泥と一緒に靴底にくっついて種子が運ばれます。小石川植物園を起点に人の移動に伴って運ばれました。誰かが蒔いたわけではないです。もともと種子交換で小石川植物園にもたらされ、それを当時の教官が屋外に播いて栽培していて、種子がこぼれ園内に広がりました。

フラサバソウ (*Veronica hederifolia*) もヨーロッパ原産で青い小さな花を咲かせ、葉に毛が多いのが特徴です。日光植物園のゴミ捨て場周辺に生えていたものの種子を持ち帰り本郷の東京大学で栽培していたところ、種子がこぼれて構内に生えてしまいました。フラサバソウはもともと各地に帰化していたので、これがもとになったかどうかはわかりませんが、現在は上野公園を含めて都内各所で見られます。

***お知らせ** 今年4-5月に、NHK教育テレビ「趣味どきっ！ 道草さんぽ 春」に多田多恵子博士が出演されます。毎週水曜日午後9時30分～55分が放送時間です。

2023年3月19日の活動

小川千恵子

朝、集合前

- ・アカハジロがいないかなあ、とボート池の北側へ。当然ながらいない。キンクロハジロが多く、目立つ。雌10羽位、雄50羽位。まだ丸くなって眠っている個体が多い。観察会で池を一周した時は、雌1羽を取り囲むように雄5~6羽と一緒に泳いでいた。朝はホシハジロ雌2、ウミネコ1、他にオナガガモ、オオバン、ユリカモメ。
- ・ボート池西側。園路の外側に白い桜が3本、きれいに咲いている。大島桜。
(桜餅の葉になる)
- ・少し南へ行くと、池そばの草地にホトケノザとオオイヌノフグリがかたまって咲いている。その先に、白い花のオオイヌノフグリ?・・・P1~2参照。

集合地で

- ・潔が「アッ、Nさんだ」と言うので見ると、ご近所のNさんが娘さんと歩いているので、ご挨拶をと思ったが猛スピードで行く。あきらめたが、桜が咲いている银杏の方へ行くので慌てて大声で呼びかけ、花を知らせる。見て感激なさり「今日は良い日だわ」と。帰宅後、写真が載っている「しのばず自然観察会より」をお渡しする。「珍しい物を教えていただいた」と、また喜んで下さる。それにしても、背がしゃんと伸び、あのスピードで歩く90才、お見事なご近所さん。



集合地から

- ・昨夏池側の草地にソラマメが出ていたあたりに少し大きめの鈴蘭のような白い花。葉は水仙か、太いニラの様。花は6個のとんがりがあり、それぞれのとんがりに緑のはん点。1本の茎に2~3個の花が下がる。スノーフレイク。鈴蘭ではなくて水仙の仲間。日本語で鈴蘭水仙と言うらしい。似た春の花でスノードロップがある。葉はスノーフレイクより広く、1本の茎に1個の花が下向きに咲く。花弁は3枚で、咲き続けると3枚の花びらが分かれて見える。
- ・園路外側の草地には白い桜。大島桜と思ったが、木の札に「イズヨシノ」とある。違いは??

- ・蓮池は刈られて浮かんでいた蓮がきれいに撤去され、池端から水面が見える。ふわりとダイサギが蓮の根元に降りた。刈って水面が出ることで、水鳥が見易くはなったが、鳥達や蓮にとっての影響はどうなのだろう？
- ・池の周りに何本もの柳がある。葉が伸び始めて、木全体が淡い黄緑色に見える。枝先の方に小さな、ネコジャラシ様の黄色っぽい房が沢山ついていて、Tさんから雄花と教わりました。「雌花は？」という声に、「株が違う」と。池の周りの柳は黄色っぽいからたぶん全部雄株だろうと。雌木は緑っぽいだけで変化がないので、見映えの良い雄株が植えられることが多いと。それを聞いて、鳥だけでなく植物も雄の方がきれいなんだという声があがる。
- ・黒っぽいセキレイがチィチィと鳴いている。セグロセキレイ？Kさんが繁殖羽に換わっているハクセキレイと。セグロセキレイはジィジィと鳴くと。
- ・下町風俗資料館前に河津桜2本、大きな柳、河津桜、アキノレ2本、大きなソメイヨシノ、大漁桜と続く。河津桜は葉より緑の実、ここの柳は葉より雄花の方が多い。ソメイヨシノはそろそろ満開になるかな！大漁桜はほんの少し花が残り、葉が全体を覆う。実もつき、少し赤味を帯びているものもある。

- ・昨年アカガシラサギを見つけたあたりのアシの方に白いものが見え、双眼鏡で見るとボール。残念！もう少し近くから見ると、ボールの北寄りのアシの根元に色鮮やかなゴイサギがたたずんでいた。ゴイサギ ⇨



- ・藤棚の北縁の樹上にアカハラが。すぐに飛び立ってしまい、先に来ていた人は見られたが、あとから来た人は見られず。池の枯れ蓮にカワセミ。
- ・弁天堂境内を出る手前の北、いつも動物園池のカワウの島を見るところはコーンと棒で池のそばには行けない。動物園のパンダ見物を待つ人の列は今までで一番長くなっていて、例の動物園池の東西にかかる橋まで並んでいた。こんなに並んでも、シャオシャオ、レイレイを見る時間は1分間です。
- ・ボート池北側で、鳥の観察。ホシハジロが朝よりふえていた。またハンノキをよく見てから、テラスへ。時の鐘はまだ鳴らない。見ると11時半。解散後、お昼を食べていると鐘が鳴りだす。今回は捨て鐘3、続いて12。ようやく通常通り。

5月の定例活動（不忍池定点観察）は5月21日（日）の予定です。